

表彰式:2018(平成30)年11月29日

賞名称	部門等	受賞者		評価のポイント
		企業・団体名	所在地	
知的財産活用大賞		株式会社カワデン	大阪府大阪市	積極的な特許出願により技術面で製品を保護すると共に、独自デザインの製品については意匠権を取得し、加えて、製品名を商標登録してブランド化を図る等、重層的な知財戦略を実践している。
知的財産活用支援大賞		株式会社YMFG ZONEプランニング	山口県下関市	機密情報を厳重に管理し、特に2次的利用が容易な電子データの扱いに関しては、USBメモリ管理ルールの徹底、メール添付ファイル自動暗号化システムの導入等による情報流出策を講じている。
知的財産活用奨励賞	営業秘密管理部門	エム・テクニク株式会社	大阪府和泉市	英数字で表した型式ではなく性能の特徴をイメージした商品名を採用し、社長自らがネーミング等に関与して企業ブランドの統一感・一貫性を図り、全社一丸となってブランド戦略を実践している。
	ブランド部門	アシザワ・ファインテック株式会社	千葉県習志野市	剥きたてのようなレモンの皮をあしらひ、その瑞々しさを表現した意匠権取得済の「MIKADO LEMON」のボトルは、国内外で高く評価され、デザインが売り上げに大いに貢献している。
	デザイン部門	ナオライ株式会社	広島県呉市	商品企画段階から弁理士のアドバイスを受け、参入市場の選定、ブランド戦略とデザイン戦略の連携、オープンイノベーションの活用、営業秘密の保護といった複数の視点で知財戦略を実践している。
	知的財産戦略部門	株式会社日本ビジネスデータープロセッシングセンター	兵庫県神戸市	地域活性化と地域振興のため従来に無い取り組みで知財の活用を促進し、山口、広島、福岡の三県にまたがり強みである広域マッチングを実現し、知財価値評価に基づく融資の実行に関与している。
知的財産活用支援奨励賞	金融サポート部門	一般社団法人さいしんコラボ産学官／埼玉縣信用金庫	埼玉県さいたま市	財務データや担保よりも事業内容や成長可能性等を重視する「事業性評価融資」を推進し、知財ビジネス評価書に基づき実際に3億円の融資を実行し事業を金融面でサポートしたことを公表している。
	事業サポート部門	株式会社八十二銀行	長野県長野市	開放特許の活用と中小企業による事業化との間に、柔軟に発想する学生のアイデアを取り入れることで、産学官、信用金庫が一体となって知財の活用を支援し、複数の事例で商品化に成功している。
特別賞		株式会社カジワラ	東京都台東区	知的財産の特性に応じて、特許権等の権利による参入障壁の構築、営業秘密の管理、ノウハウ流出の恐れがある諸外国でのブラックボックス化など、多面的にバランスよく知財戦略を実践している。
		シゲモリ株式会社	広島県広島市	衛生帽子や作業フード等の商品について、積極的に特許権と意匠権を組み合わせることで模倣品を排除し、商品名については商標権を取得してブランド化する等、複合的な知財戦略を実践している。